We Love Library

EMC news letter

平成 31 年２月号 Vol.19

情報メディア教育センター

本を持って旅に出よう！Bon Voyage！

初めての場所で初めての人に出会う。初めて見たものに感動し、新しい風に吹かれる。それがたぶん旅に出る目的。楽しいこともいっぱい待っているけれど、一人ぼっちで不安になることもある。

本を持って旅に出よう！一緒に笑った本、泣いた本、あなたを励ましてくれた本、勇気をくれた本、そんな友だちのような本を一冊鞄に入れて、第一歩を踏み出そう。

「もうすぐ卒業」特集　旅立つ皆さんに贈る言葉を本に代えて

『たとえる技術』　せきしろ【著】

ご卒業おめでとうございます。「ピンチがチャンス」というのは内田の座右の銘ですが、皆さんが今後、苦しいこと・うまくいかないことに直面した時、深刻になる前に『たとえる技術』でふざけてみてください。例えばですね、喧嘩して険悪な状況時→大好きな彼女が「激辛カレーを食べた直後の YOSHIKI のように」激怒している…とかね。職場や学校で孤立したら→この状況は「修学旅行生の集団と一緒の旅館に泊まるような」孤独だ…とかね。何かをたとえるということは、その物事ごとや感情に対して距離を取る、ということです。近すぎて見えなかったものが見えるようになると、そこにはくすっと笑えるユーモアが入り込む余地があります。笑えれば次に進めます。また EMC に遊びに来てね！（内田）

『七〇歳年下の君たちへ: こころが挫けそうになった日に』　五木 寛之【著】

本書は、灘高生たちに生きていく上でのピンチを克服する術を示した授業記録と早稲田大学の学生との対談を収録しています。五木との年齢差 70 にも関わらず、対等な目線で話をしていて、内容は親鸞の言葉の引用から、「シン・ゴジラ」、アヘンの吸い方まで話題は多岐にわたります。五木は 1945 年の敗戦をピョンヤンで迎えますが、同胞に対して冷酷な言動があったり、国家が国民を裏切っていくところを目の当たりに体験しています。彼のスケールの大きい体験の中でたどり着くところは無常、楽観だったようです。人生の問題は正解がないけれど、「人間はどこかで信用しなきゃならない」という言葉を導き出しています。心が挫けそうになった時、何度でも読み返せる本だと思います。（黒川）

『身近な雑草の愉快な生きかた』　稲垣栄洋【著】/三上　修【画】

身近な雑草 50 種の生き方と暮らしぶりをイラスト付きで紹介した本書。「愉快な」というよりは「シビアな」とか「したたかな」といった方がしっくりきます。さまざまな知恵と工夫で逆境をプラスに転換して一見愉快に生きているように見える雑草たち。「足並みそろうと全滅しちゃうので。」「開花の時期をずらしたり、背丈を変えたり、常に多様性を広げようとしている」。しかし他と違う生き方をするためには、半端な気持ちではない覚悟や取捨選択があったはずなのに。下を向いて歩いているとまず目に入るのが雑草。葉は常に太陽を求め上を向き、根は下へ下へ。気負わず、でも強く生きることだけを常に考えている。雑草流にクールにカッコよく生きてみたい！と思える一冊。旅立ちのお供にぜひ。（大塚）

新着図書ピックアップ

『私以外はみんな不潔』

能町みね子【著】

唐突ですが幼稚園児の内田は、自宅マンションの下の階に住んでいた背の高いさっちゃん（同じ歳）からよく意地悪されました。チビだったのでエレベーターのボタンに手が届かず、彼女から締め出されると６階自宅まで階段上がるのは悔しかったなあ…という積年の恨みはひとまずおいといて、なぜそんなことを思い出したかというと、この本。幼稚園児が主人公の小説です。「勝手に他のつまらない子供に、私のなかに入ってこられるのはごめんである」という、非力だけど（子どもだからね）気位は高い５歳児の話。周りは不潔だし同年代はぎゃあぎゃあうるさいし、ご飯はまずいし、大人は子ども扱いするし（当たり前か）…みなさんも「あー。わかるわー」と思うかもしれませんね。あの頃（そしてひょっとしたら今も）うまく言えなかった、表せなかった心の中の「あるある」が満載です。（内田）

『黒板アート甲子園作品集 高校生たちの消えない想い』

日学株式会社　【監修】

黒板ならではのスケール感とチョーク独特の温かみ、いずれは消されてしまう“はかなさ”も魅力となり、ここ数年大きな話題となっている黒板アート。高校生を対象として 2016 年より開催されている「日学・黒板アート甲子園®」ですが、2018 年で第３回目を数え、全国から 157 もの応募作品が集まりました。その中から最優秀賞をはじめとする各賞が選ばれ、本書はその作品集です。

黒板の生かし方やチョークの使い方に工夫を凝らしてあって、チョークの色ってこんなに多彩だったかなと思うほどカラフルな作品、構図が面白い作品、表現力、観察力、想像力などエネルギッシュで高校生ならではの勢いを感じる作品等々、満載です。教室の黒板とチョークがあれば誰にでもできる黒板アート。きっとあなたも挑戦してみたくなりますよ。（大塚）

『幸福の増税論―財政はだれのために』

井手 英策【著】

“増税”の文字にうんざりではありますが、生徒さんにはまだピンとこないかもしれませんね。いずれ大人になれば必要な知識になるので、覚えておきましょう。

自己責任社会とは自らの収入で蓄えを作り、自己責任で将来に備えなければならないというものです。それが格差を助長し、社会の分断を加速させて政治不審であったり、他人への信頼を失いかけていきます。それを自己責任社会から「頼りあえる社会」へ転換する道筋を、財政のあり方を軸に著者は大胆に提言しています。すべての個人に一定額の現金を給付する一方で、医療・介護などのサービスを無償で提供します。そのためには税金を上げることになる…と。必要な時にいつでも安心して、享受できるための増税ですから、「幸福の増税論」なのです。（黒川）

新着ピックアップは毎月、司書３人がこれはぜひ読んで！と思う本を選りすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

本を読み始めた図書館員・藤崎一臣の

本、読んでいこう！ vol.18

『人魚の眠る家』　東野圭吾【著】

年始早々インフルエンザに感染し、妻から囚人のような扱いを受けた私。2019年も恐妻家として精進してまいる所存であります。

先回の『ナミヤ雑貨店の奇蹟』で東野圭吾ワールドに魅了され、今回はどのような物語なのか、どんな東野圭吾ワールドが広がっているのか、を期待しつつタイトルの雰囲気で本を選びました。（私には珍しく結構分厚い本です。）

子どもの脳死と臓器移植といった重いテーマを題材としているので明るい内容の物語ではありませんでしたが、登場人物と同じ年齢の子どもを持つ私にとっては、もし、私の子どもがこのような状況になった場合、私だったら、どのような決断をするんだろうといろいろと考えさせられました。

私の臓器の場合、世のためになるのであればという思いだけで簡単に差し出すことができるのですが、「子どもの」ってなると話は別なんですよね…。

なぜ、海外で臓器移植手術を行うと医療費がケタはずれな金額になるのか。なぜ「海外の臓器移植手術＝アメリカ」なのか。なぜ、国内ではドナーが見つかりにくいのか。など、この作品を通して日本の子どもの臓器移植の実状を知り、考えさせられる機会となりました。脳死は死なのか？　う～ん…。

そういえば、本屋大賞2019年のノミネート作品が発表されましたね。次回は、その中から私の直感で本屋大賞を受賞しそうな作品を１冊チョイスし、ご紹介したいと思います。

第15回　不殿絵里加先生おすすめの『逆境を生き抜く力』

この本は自分が学生時代にバレーボールの企業チーム「トヨタ車体」で監督経験のある方から直接ご指導頂き、教えて頂いた本です。社会に出てから必要なことが書かれており、また人間性を高める重要性が書かれています。部活動のお話で書かれていますが、部活をしていない生徒も、関係ある話だと思うのでぜひ読んでもらえればと思います。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？

2月の開館予定

2月		
1	金	8:10-18:50
2	土	休館
3	日	休館
4	月	8:10-18:50
5	火	8:10-18:50
6	水	8:10-18:50
7	木	8:10-18:50
8	金	8:10-18:50
9	土	休館
10	日	休館
11	月	休館
12	火	8:10-18:50
13	水	8:10-18:50
14	木	8:10-18:50
15	金	8:10-18:50
16	土	休館
17	日	休館
18	月	8:10-18:50
19	火	8:10-18:50
20	水	8:10-18:50
21	木	8:10-18:50
22	金	8:10-18:50
23	土	休館
24	日	休館
25	月	8:10-18:50
26	火	8:10-18:50
27	水	8:10-18:50
28	木	休館/館内整理

今月の本棚 Books ourshelves

必勝！St. Valentine's Day

今年も甘いチョコレートの季節到来。２月14日のバレンタインデーは女の子から男の子へ告白をする日だったのですが、最近は友チョコや、自分へのご褒美にというのがはやりで、ドキドキしてチョコを渡したり、「ヤッタアー、チョコもらったぜ！」というようなシーンはあまりない！！　そこでEMCでは今年こそ「本命チョコ」なるものを贈りたい女子とチョコをもらってみたい男子を応援しようという、なんともお節介なコーナーをつくってみました。場所は２階メイン展示コーナーです。

チョコレートに想いをのせて届けよう。ついでに女も磨こう。*GOOD LUCK！*

EMC所蔵のチョコレートレシピ本、ありったけ並べました。本命チョコは真剣勝負で、とびっきりで。簡単なものから、ちょっと手の込んだ本格派まで、これ作ろう！と思うレシピを探してみてくださいね。要はハート♥　チャレンジあるのみ！　うまくいくといいな。

さらに女子力もアップのための本も展示しました。可愛いネイルやヘアスタイルなどの本、並んでます。カッコいい路線を目指すなら『ハンサム美人なしぐさ』なんてどうでしょう？　ご参考までに！

これで君にもモテキ到来!?　本命チョコゲットなるか？

こちらは男子応援の棚。「見た目も大事」ということで、ファッションセンスから肉体改造、とりあえずいっときましょうか。紅白でも話題になった武田真治の「筋肉体操」じゃないけど、シックスパック目指して『筋力トレーニング練習メニュー120』、試してみよう（ほんまか!?）。『メンズファッションの解剖図鑑』は服のうんちくが満載ですよ。「センスは知識から」ね。

続いて中身。聞き上手、話し上手な人は確かにモテてますよね。

例えば彼女にもっとも好印象をもたれるデートの誘い方はどれだと思う？

①「来週、どうする」　②「来週はどこに行こうか」

③「来週は、遊園地と映画、どっちがいい？」④「来週、天気がよかったら遊園地行かない」

答えは『会話で診断　女ごころ男ごころがわかる心理テスト』でチェックしてみてね。

昨今では料理男子も素敵です。美味しいごはんが作れるのは確かにいい感じですよね。ほかにはちょっとした機会にサクッとマジックなんかができるとポイント高くなるとかならないとか…芸は身を助けるって言いますしね。

「バレンタインデーなんて関係ない！」という人向き『「ぼっち」の歩き方』という本はいかがでしょう。「ひとりプラネタリウム」とか「ひとり豆まき」とか、意外に楽しいみたいですよ。

図書館からのお知らせ

●卒業生の最終返却期限は２月18日（月）とします。以後の貸出はできませんので、ご注意ください。

（ただし、図書館は３月29日まで利用することができます。）

●２月の開館は時間延長しています。（～18:50）。受験生の皆さんも、ぜひ利用して下さい。

編集後記　２月はあっという間に過ぎ去ってしまいます。
暦の上では春（２月４日が立春）ですが、まだまだ寒いですね。
卒業する生徒さんにも春はすぐそこに来てますよ！頑張りましょうね。（黒川）